

平成28年度 施策評価表

	課・グループ名	産業振興課農政グループ

作成年月日：平成29年10月13日

施策名	①収益性の高い農業の確立 2-1-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	2. 地域ぐるみで支え育てる活力ある産業経済のまちづくり	(1) 地場の交流を通じた顔の見える農業・農村環境づくり	①収益性の高い農業の確立
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●売れる米づくりに向けた良質・良食味米の安定生産や新しい技術の導入を推進します。また、輪作体系の確立に向けた取組み、収益性の高い野菜などの作物の導入を推進し、農業経営の安定化を図ります。 ●土地利用型の農業を確立していくために必要な基盤整備等を計画的に行い、生産基盤の強化を図ります。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●平成25年度の農家戸数は192戸（農家人口888人）で、うち農業生産法人は13経営体（1戸法人を含む）となっています。また、専兼業の割合は専業90戸、第1種兼業73戸、第2種兼業29戸となっています。 ●本町を含め農業を取り巻く情勢が厳しさを増している中で、米を基幹作物として農業生産を展開しているが、生産調整政策、輸入作物との価格競争等により農産物価格は低落傾向にあり、経営規模の拡大等に伴う投資が、農業経営を大きく圧迫しています。このため、経営の改善を図り生産コストの低減等を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●需給バランスに応じた米の生産、小麦・大豆等を推進するとともに、農業所得を安定的に確保するため、経営の複合化や多角化を促進する必要があります。 ●農作物の生産性・品質の向上による安定的な農業経営の確立を図るためには、計画的に区画整備などの基盤整備を行う必要があります。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
			成果指標（総合計画・施策評価）			可能	
						○ 不可能	
						未計測	
			代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定	
		※特定のデータ化等が困難であるため指標なし			可能		
					○ 不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			当該年度	目標年度	達成率増減の理由
		H25	H26	H27	H28	H28	
目 標							
実 績	平成26年度より成果指標なし						
達成率							
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移（目標達成は十分に可能である）				施策の達成度	平成28年度は町内5地区において農業基盤整備を実施しており、今後は新たに実施される地区を含めて国の予算状況等により事業の進捗に影響を及ぼす可能性がある。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移（目標達成は可能である）					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている（目標達成が遅れる可能性がある）				B	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている（目標達成は難しい）					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H28実績	H29予算	
					実績								
1	農業振興補助金交付事業	(1)	産業振興課	事業項目数	4	項目	本町の農業振興を図るため、南幌町農業協同組合が実施する農業振興事業のうち、南幌町農業振興補助金交付要綱に基づく次の事業に対し補助金を交付する。 ◎野菜価格安定基金への助成 ◎担い手・後継者対策 ◎農産物消費拡大 ◎特産品奨励推進 ◎食育推進事業	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	4,000	高い	
					4	項目					4,000		
2	食料供給基盤強化特別対策事業	(1)	産業振興課	地区進捗率 ①青葉地区(完了) ②晩翠地区 ③清幌地区 ④南幌地区(完了) ⑤鶴沼地区 ⑥西幌地区 ⑦三重地区	②92 ③80 ⑤56 ⑥30 ⑦3	%	道管農地整備事業の受益者負担17.5%の一部を町が負担する工種毎の負担率 区画整理 町10.0%受益者7.5% 用水路 町5.0%受益者12.5% 暗渠排水 町10.0%受益者7.5% 排水路 町7.5%受益者10.0%	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	173,269	高い	
				地区進捗率 ②晩翠地区 ⑤鶴沼地区 ⑥西幌地区 ⑦三重地区 ⑧鶴城地区	②98 ③81 ⑤66 ⑥16 ⑦4	%					161,552		
3	道営経営体育成基盤整備事業	(1)	産業振興課	地区進捗率 ②晩翠地区 ⑤鶴沼地区 ⑥西幌地区 ⑦三重地区 ⑧鶴城地区	⑤98 ⑧100	%	幹線排水路の整備 区画整理の計画樹立、変更	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	12,157	高い	
				地区進捗率 ②晩翠地区 ⑤鶴沼地区 ⑥西幌地区 ⑦三重地区 ⑧鶴城地区	⑤98 ⑧100	%					3,402		

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H28事業費	189,426
H29予算	168,954

②H29に実施した新規事務事業

実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	農業基盤整備については、暗渠排水等の整備により透排水の向上を図り低温・多雨などの気象条件による農作物等への影響を抑えることが期待でき、安定的な農業へとつながっていくことから今後も継続して実施していく必要がある。 農業振興補助金交付事業については、より効果的な支援を図るべく補助金対象事業の見直しを検討する必要がある。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性
			A					
			B	1	2	3		
			C					
			D					